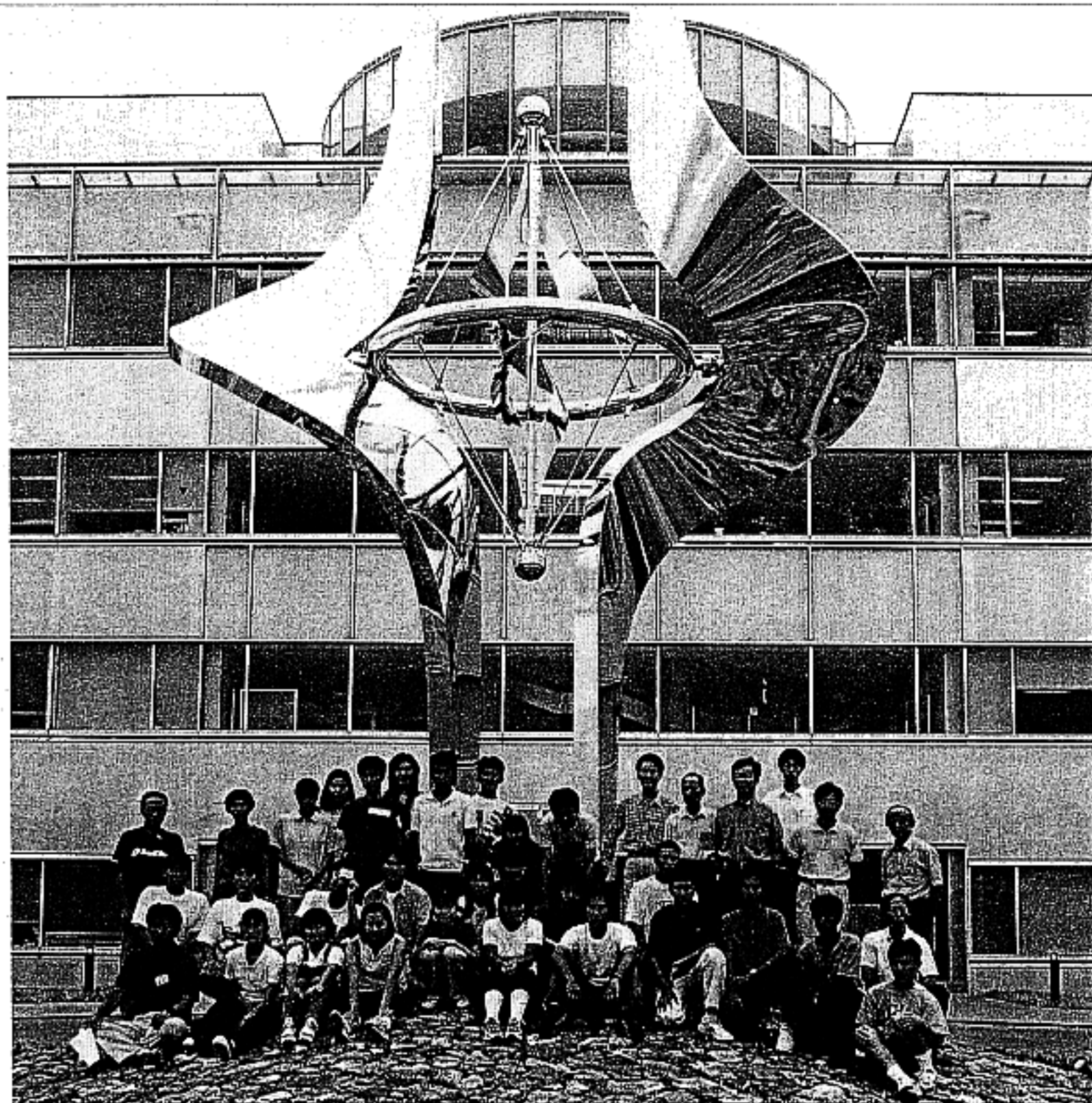


Spring 8

1998~1999

PUBLIC RELATION REPORT



「高校生のためのサイエンス・サマーキャンプ」に参加した高校生たち

**放射光利用研究促進機構
財団法人高輝度光科学研究センター**

Japan Synchrotron Radiation Research Institute

1.サイエンス・アドベンチャー・スクール(SAS)

■実施日:1999年/1回目: 5月27、28日/2回目: 6月22、23日
/3回目:10月28、29日/4回目:11月29、30日

2002年に新設される「総合的な学習の時間」の導入に先駆け、●いろいろな科学実験を通じて、科学に対する興味関心を高める。●自分で課題を見つけ、追求し、解決できる“生きる力”をつける。●児童の感謝や尊敬の気持ちを育てる。こと等を目的として西播磨科学公園都市内にある播磨高原東小学校の児童に実験や講義を実施しました。

「科学って楽しいね」

兵庫県新宮、上郡、三日月の3町にまたがる播磨科学公園都市にある世界最大の大型放射光施設「SPRING-8(スプリング・エイト)」で、最先端の科学を追求する研究者らが、今年5月から小学校で理科

兵庫・新宮町 小学校で定期授業

を教えている。実験中心のユニークな授業に、児童は大喜び。第一線で活躍する科学者が交代で小学校の教室に立つという全国でも例のない取り組みに教育関係者の注目が集まっている。

研究者が理科を教えているのは、施設の近くにある新宮町の播磨高原東小学校(山本幸子校長、80人)。施設的设计・建設を担当した日本原子力研究所の関西研究所など二つの機関と、施設を管理する高輝度光科学研究センターの研究者が講師を務めている。

昨年度、山本校長が「科学のまち」の学校として、研究者が理科を教えているのは、施設の近くにある新宮町の播磨高原東小学校(山本幸子校長、80人)。施設的设计・建設を担当した日本原子力研究所の関西研究所など二つの機関と、施設を管理する高輝度光科学研究センターの研究者が講師を務めている。

文部省教職員課の最先端科学の研究機関が、学校の授業に組織的にかかわっているケースは聞いたことがない。教育活動の幅が広がり、有意義な取り組み

先生は最先端研究者



大きなシャボン玉の中から光の様子を観察する児童—兵庫県新宮町の播磨高原東小学校で今年5月

とヒミツ鑑定で活躍する。医学や地球科学など、放射光を利用してさまざまな分野の研究が進められている。和歌山市の商物カレ「事件では、ヒミツの鑑定級のX線出力の能力があらに利用された。

特徴のある授業がしたい」と、山本校長は「生き生きとした子どもたちの表情を見て、しさを教えよう」と研究が分かってきたのか、今年度は計6回、来年度の授業と違い、子どもたちが疑問をストレートにぶ

小学校で最先端授業



今月27日から
2月まで6回

研究者が理科の実験

シャボン玉や光、生命テーマ

スプリング8と播磨高原東小が連携

大型放射光施設「スプリング8」のある播磨科学公園都市の小学校で、同施設が全面支援するカリキュラムが近くスタートする。同施設の科学者が一年を通じ、特別授業を行う内容で、大規模な研究施設が地域の初等教育に本格協力するのは国内でも初という。

同施設の利用・研究を促進する高輝度光科学研究センターが、播磨高原東小と連携し、播磨高原東小が派遣する研究者が、今月二十七日から来年二月までの間、一、二月に一回のペースで教壇に立つ。

スプリング8の協力で試験実施した特別授業。

特別カリキュラムを組む

のは、同校の三、六年生の理科で、実験を中心にした九十分授業。今年度は、人間が入る大きさのシャボン玉を作り、空気や水の不思議を学ぶ「シャボン玉の科学」(二十七日)を皮切りに「いろいろな光」、「生命のしくみ」などをテーマに六回行う。

講師には、大阪大学名誉教授の勝部幸輝・同センター長・同施設管理部門長ら七人を予定している。

同校は、昨年からスプリング8スタッフの協力を得たカリキュラム実現に向け検討を始めた。二月に同施設の研究者を招いた授業を試験的に行ったところ、児童にも好評だったため、同センターに協力を要請。通

年授業を実現させた。山本校長は「科学のまち」という地域特性を生かした授業を目指したい」としており、二〇〇二年四月導入の新課程「総合的な学習の時間」にも、今年度からの取り組みを生かす。



すいた紙にモミジや花びらを置き、丁子でアイロンで乾かした—播磨高原東小学校で

播磨高原東小 科学者を迎え実験に取り組む

新宮町の播磨高原東小学校は、播磨高原東小学校（山本幸子校長・八二八）では、今年度から年一回、大型放射光施設（SPRING-8）を運営する高輝度光科学研究センターの科学者を講師に迎えたSAS（サイエンス・アドベンチャー・スクール）をしている。同校のモットーは、「地の利を生かしたオンリーワンの教育」。昨年二月、同センターの協力で科学実験に取り組んだところ、児童の反応がよく、年間を通して実施することになった。

牛乳パックなどで紙すき

「材料には、牛乳パックやクワのいが、タマネギの皮など、児童らが用意した身近なものを使った。川島悠岐君（四年）は「材料によって色が違うところが面白かった」。丸下将義君（三年）は「牛乳パックから、こんなにきれいな紙ができるのに驚いた」。木本美友貴さん（四年）は「作った紙で、以前住んでいた大阪の友達に手紙を書きたい」。児童らは、一人四枚ほどずつの中から一枚を選び、校区内のお年寄りに年賀状を贈くという。

高橋さんは「身近なものに愛着や価値を見いだすことは、科学の研究でも大切なことだ」と話す。山本校長は「科学者たちの思いが授業を通して伝わり、子供らの知的好奇心と夢につながれば」と話している。

（高橋）

紙面：朝日新聞
月日：H11.12.15

「光」の性質詳しく

播磨高原東小学校 理化学研スタッフが授業



蛍光塗料で描いた絵を紫外線にかざす児童—播磨高原東小学校、新宮町

大型放射光施設（SPRING-8）の研究員ら、赤外線感知器で、子どもたちの体温をキャッチ。モニターには、赤色や青色に彩られた児童らの姿が映し出され、教室には驚きの声が上がった。

同小が今年度から取り入れたカリキュラム。三、六年生が、来年二月までの六回にわたってSPRING-8が派遣した科学者の「最先端授業」を受ける。

この日のテーマは「いろいろな光」。赤外線や紫外線など目には見えない光があることを知る授業で、三十人余りが出席した。

教師役は、SPRING-8に勤務する理化学研研究所の研究者ら。赤外線感知器で、子どもたちの体温をキャッチ。モニターには、赤色や青色に彩られた児童らの姿が映し出され、教室には驚きの声が上がった。

紫外線の実験も行った。透明の塗料を塗ったピンポン玉や粘土細工を紫外線ランプにかざすと、黄色や赤色に発光。見えない物を照らし出す、紫外線の性質に生徒たちは興味津々の様子だった。

紙面：神戸新聞
月日：H11.5.18

2.トライやる・ウィーク

■実施日: 1998年11月9日～13日 / 1999年5月31日～6月4日

兵庫県では県下全中学2年生を対象に、「トライやる・ウィーク」事業を平成10年から展開しています。本事業は、中学生が地域等に学ぶ体験活動週間であり、生徒一人ひとりが自立性を高め、将来たくましく「生きる力」を育むことを目指す1週間です。SPring-8もこの体験活動に協力しました。

相生市など72中学

トライやる・ウィーク始まる

仕事の楽しさ厳しさ体験

先端技術から炭焼きまで

中学2年生が地域社会に飛び出し、働く現場で学ぶ兵庫県の体験活動「トライやる・ウィーク」が三十一日、四播磨地区で始まった。この日を皮切りに、龍野、相生市や相模郡、赤穂郡などの中学校で順次スタート。今月下旬までに七十二校・一万七千七人の生徒が市役所や商店、企業などに散らばり、仕事の楽しさ、厳しさを体験する。

相模郡新宮中、播磨高原東中、赤穂郡上郡中、佐用郡三日月中の四中学校では、十五人が播磨科学公園都市の大型放射光施設「スプリング8」で体験活動。初日は、放射光の元である電子についての勉強や施設見学で過ごした。三日月中の小谷優子さん(二)は「スプリング8が何をする所か、ちよつぷり分かりました。一日からは、中央監

視室などでの実習が始まりました。相生市立那波中学校では、八十七人が二十七カ所の受け入れ先へ。市内の書店では、松崎祥学君(二)と山野幸秀君(二)が、仕入れ商品のチェックや店番などを手伝った。

「本が好きなので書店での実習を希望した」という松崎君は「道から出したら朝に並べたりで、思った以上に大変。本屋さんでも、いろんな仕事があるので驚いた」と話していた。

SPring-8 広報誌
「ひかりの丘から」
創刊号

HELLO.
SPRING-8!



世界一を肌で感じる一週間

地元中学生22名が、夢の光にトライアルウィーク!

兵庫県教育委員会の興味ある企画「トライアルウィーク」にSPring-8もスタッフをあげて協力しました。中心になって中学生向きのプログラムを考えた鈴木さんは、「科学や研究の話だけではまだ少し難しいと思ったことと、トライアルウィークの目的が、中学生たちが社会のしくみを体験することだったので、最先端の研究は、多くの地味な仕事と一緒に初めて可能になるという視点でのプログラムを組みました」と話してくれました。



体験の具体的内容は、新聞記事のコピー・切り抜き作業など広報室のお手伝いから、施設各セクションの機器の見学・点検作業まで多岐にわたり、中には実際に機器を始動させる場面も盛り込まれました。中学生たちのこの体験がいつか生きるよう祈ります。



スプリング8内の施設を見学する中学生
＝佐用郡三日月町、播磨科学公園都市

紙面: 神戸新聞
月日: H11.6.1

3. 高校生のためのサマー・サイエンスキャンプ

■実施日: 1998年8月5日~7日 / 1999年8月9日~11日

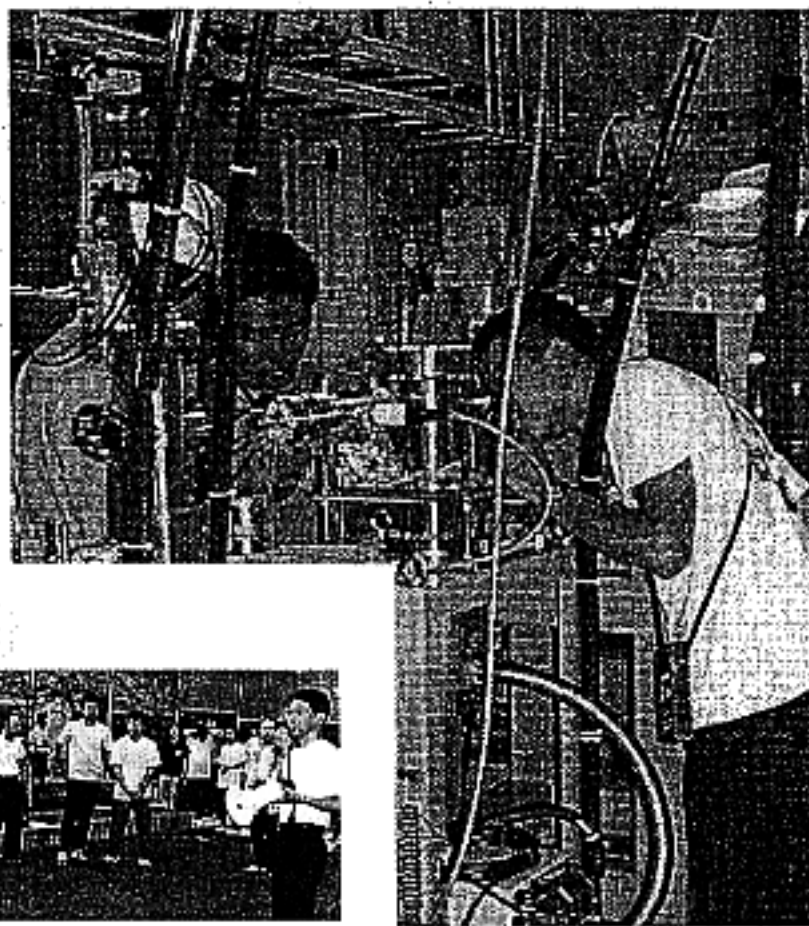
次代を担う理系志望の高校生に対して、施設見学、体験実習等を通じて研究者との交流を図ることにより、放射光を中心とする科学技術分野への理解と啓発の支援を目的として実施しました。

機器に触れ意欲

初めて高校生10人が実習

「科学する心」を育てる
狙いで、県などが播磨科学
公園都市の大型放射光施設
(上郡町)を中心に初の高
校生サイエンス・サマー・
キャンプを五日開いた。世
界最大規模の「スプリング
8」の設備や放射光の特性
などを学習。蓄積リング内

放射光を取り出す光学ハッチ内でビームラインの
整備を学ぶ高校生たち。上郡町の大型放射光施設で



の光学ハッチに入って実験
準備の実技を受けた。構内
の研究交流施設に宿泊、七
日まで企業の研究所も訪れ
る。

公費で参加したのは地元
の光学ハッチに入って実験
準備の実技を受けた。構内
の研究交流施設に宿泊、七
日まで企業の研究所も訪れ
る。

の光学ハッチに入って実験
準備の実技を受けた。構内
の研究交流施設に宿泊、七
日まで企業の研究所も訪れ
る。

の光学ハッチに入って実験
準備の実技を受けた。構内
の研究交流施設に宿泊、七
日まで企業の研究所も訪れ
る。

播磨科学公園都市の大型放射光施設

の実習に取り組んだ。

四つの実習に分かれた生

徒たちのうち、希望するビ
ームラインを取り出す調整
と準備に当たった姫路工大

付属の生徒は「これまで見
学会にはいつも来ている
が、実際に機器に触れるの
は初めて。難しそうだが将

来、研究部門に進みたい」
と意欲的だった。

六日からは姫路市の東芝
工場や姫路工大理学部研究
室を訪問。放射光施設など
で二回の実習も予定、佐
用町の西はりま天文台での
観測や住友重工業播磨研究
所も訪れる。

HELLO.
SPRING-8!

未来の科学者?たちが今年も
SPRING-8にやって来た!



“触・見・感”夏の体験

「楽しかった!」もっと長くやってほしかった!「難しかったけど、充実した3日間だった。中には「将来、科学者になりたい!」……などの反響のうちに、今年も「サイエンス・サマーキャンプ」は大成功。

県下の理系志望の高校生を対象とした「高校生のためのサイエンス・サマーキャンプ」をSPRING-8では、兵庫県などと共催で、毎年夏休みに実施しています。今年は8月9日(月)~11日(水)の3日間開催されました。

第一線に立つ研究者と一緒に研究の体験実習を行い、科学技術を身近に感じることが出来る“生きた学習”になればと、同キャンプでは願っています。高温・高圧発生装置を使った「ダイヤモンドで覗く高圧の世界」や、X線発生装置・X線用テレビカメラを使った「イメージング学習」などなど、学校では出会えない“難しいけれど、興味津々”な実体験となったようです。

また今年は、恒例の「バーベキュー大会」に加え、研究者との交流をより深めるために「スポーツ大会」も盛り込まれました。参加した高校生たちにとって、まさに“触・見・感(食)”の思わずのめり込む3日間でした。

このキャンプを通じ、さらに多くの若い人たちが、科学技術に親しめるよう、主催者一同来年のキャンプ開催に今から意欲を燃やしています。

SPRING-8 広報誌
「ひかりの丘から」
第3号

紙面: 朝日新聞
月日: H10.8.6

4. はりま博士のおもしろサイエンス

■実施日: 1998年8月 1 日～22日の土・日
: 1999年7月31日～8月15日の土・日

夏休みを利用して、県下の小・中学生を対象に、科学実験教室、SPRING-8の施設見学を行うことにより、科学技術分野への興味・理解・啓発の支援を行い「科学する心」を育むことを目的として実施しました。



放射線量の測定実験風景(実験中の小学生たち)



「はりま博士のおもしろサイエンス」に参加の小学生見学風景

紙 面: 朝日新聞
月 日: H11.7.3

ロボット工作や科学教室

科学公園都市で
参加者を募る

県企業庁と財団法人「ひょうご科学技術協会」は、播磨科学公園都市の夏休みイベントで小学五、六年生を対象にロボット工作教室と科学実験教室の参加者を募っている。いずれも会場は光都プラザ。参加無料、先着順で受け付けている。

科学実験教室「はりま博士のおもしろサイエンス」は三十一日から八月十五日までの土、日曜日の計六回、各日午前十時から午後四時まで。内容は身の回りの放射線測定▽身の回りの科学▽光と電気、太陽電池▽空気の不思議など。大型放射光施設「SPRING-8」など新都市内施設の見学会も締め切り。

募集は各開催日とも約三千人。締め切りは七月十四日。

ロボット工作教室は八月二十一、二十二日の午前九時半から午後四時まで。センサーで光を感じする自作ロボットを作る。両日とも定員二千人で、七月十九日締め切り。

紙 面: 神戸新聞
月 日: H11.7.2

夏休みには
科学実験を
小学生の
参加者

公園都市で6回

兵庫県企業庁は、小学五、六年生を対象に三十一日から計六回、播磨科学公園都市(上郡、新宮、三日月町)の大型放射光施設「SPRING-8」で科学実験教室「はりま博士のおもしろサイエンス」の参加者を募集している。

内容は「身の回りの放射線を測定してみよう」(三十一日、中学生も可)▽「身の回りの科学」(八月一日)▽「光と電気」▽「空気の不思議」(同八日)▽「空気」▽「飛ばして遊ぼう」(同十五日)。

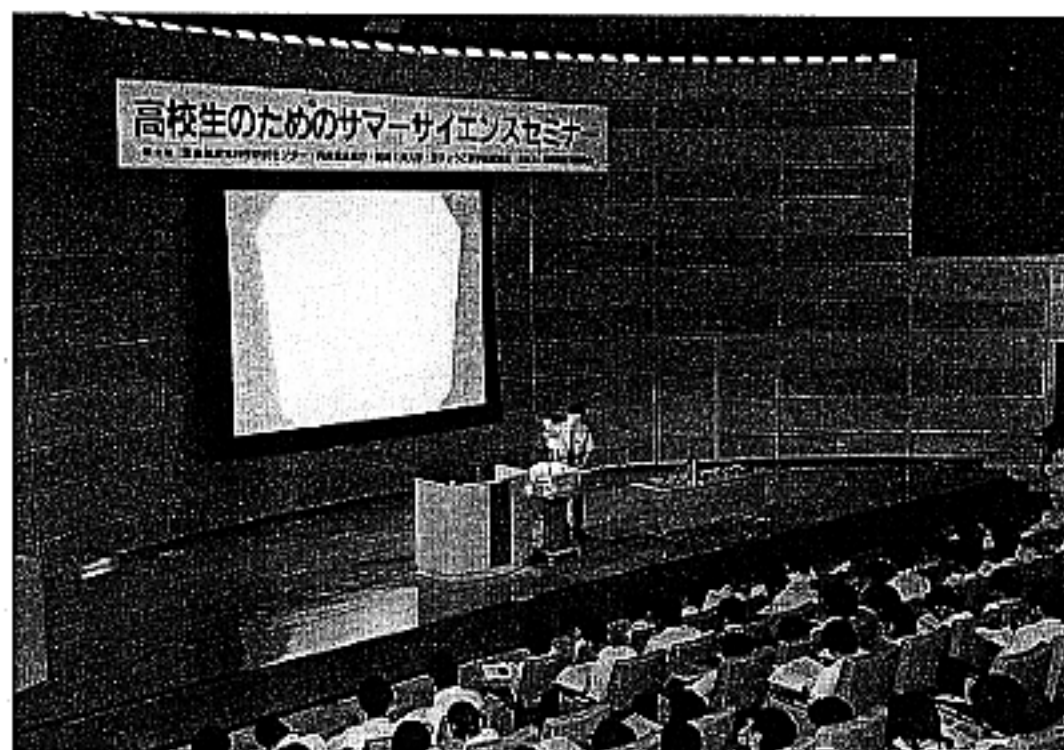
高輝度光科学研究センターや姫路工大付属高校などの指導で実験し、科学への興味を深めてもらう。

各回定員三千人。無料。消印による先着順。往復はがきに郵便番号、住所、参加者と保護者の氏名、電話番号、学校名、参加希望日(第三希望まで)を書き、〒678-1201 赤穂郡上郡町金出地、県企業庁播磨科学公園都市建設局まちづくり推進課へ。☎0791-58-1117。

5. 高校生のためのサマーサイエンス・セミナー

■実施日: 1998年8月18日、19日 / 1999年8月18日、19日

科学に興味を持つ理数系の高校生を対象に、基礎科学と放射光に関する講演及びSPRING-8と姫路工業大学理学部の見学を行い、科学技術分野への理解と啓発の支援を目的として実施しました。



■研究者による講演風景

6. 高校理科教師のための体験研修

■実施日: 1998年11月24日

西播磨地区の県立高校の物理・化学の教師を対象として、SPRING-8で何が出来かななどを、体験してもらうこと及び科学技術の普及啓蒙活動を目的として実施しました。



■3D模型がねて蛋白質の立体構造を見ている先生たち

1. Spring-8 施設一般公開

■実施日: 1998年4月19日
: 1999年4月18日

科学技術週間参加行事の一環として、科学技術に関し、広く一般国民の理解を深め、もっと我が国の科学技術の振興を図ることを目的として開催しました。

きょうから科技週間

関心と理解を促進 全国でイベント開催

12日から科学技術週間が始まる。18日までの一週間、全国各地でさまざまなイベントが展開される。同週間には科学技術を広く国民に知ってもらう「関心と理解」を深めるのが目的。

科学技術庁は1000年期的な変革期に当たる99年から2001年の3年間で、科学技術に関する社会の理解を増進させることにしており、今回の科学技術週間をそのスタートと位置づけ、理解増進活動を集約させる。

科学技術週間の旗語は、青森県むつ市関根小学校の村中拓実君が考えた「科学が未来を拓く」。

また14日には衆議院議長公邸で、小淵恵三首相や各閣僚の科学技術関係者が参加して「永田町ロボコ」が開催される。

12日から科学技術週間の子供の頭を使い、手を使えン」が開かれる。2001年からは、知的財産の創出、その前向きな振興を促すことも目的に表現したものだ。

全国で実施するイベントは約700件。13日には東京・虎ノ門の虎ノ門バスターミナルで、科学技術会議員で元京都大学総長の井村裕夫氏が「21世紀のバイオサイエンス」をテーマに記念講演、有馬朗人科学技術庁長官が出席して科学技術功労者、科学技術振興功績者などの表彰を行う。

また14日には衆議院議長公邸で、小淵恵三首相や各閣僚の科学技術関係者が参加して「永田町ロボコ」が開催される。

紙面: 神戸新聞
月日: H11.4.9

テクノポリス 施設一般公開

18日、現地開催

播磨科学公園都市内の施設を一般に公開する「播磨科学公園都市スプリングフェア'99」が18日午前10時から午後4時まで、現地で開かれる。

都市内の教育・研究機関や企業などの共催。公開されるのは、大型放射光施設(Spring-8)をはじめ、立体映像が楽しめる都市PR館オプトビーム西播磨広域防災拠点VNEC播磨テクノセンターなど十二カ所。

また、県立先端科学技術支援センターでは午後一時から、松井純爾・姫路工業大学教授と高輝度光科学研究センター研究所の菊田恒志・副所長が、Spring-8による研究の成果などを話す。また、キャラクターショー「燃えよロボコ」や都市内を歩く「ふれあいウォーク」、ヘリコプター遊覧飛行もある。遊覧飛行のみ有料。当日は都市内に巡回バスを運行する。西播磨県民局 ☎0792・81・3001。

紙面: 日刊工業新聞
月日: H11.4.12

HELLO. Spring-8!

科学をもっと身近に楽しむ一般公開。



今年も科学技術週間の一環、4月18日(日曜日)に科学公園都市の諸施設が一般公開されました。都市内は、十数分おきに巡回する無料バスで結ばれ、あいにくの雨にもかかわらず、多くの一般市民の方にご参集いただきました。

Spring-8では、実験ホールでの研究と装置紹介の他に、大人気を集めた子供の科学実験体験コースや地元の伝統太鼓の実演など趣向をこらして、約1,200名の見学の方々をお迎えしました。



子供連れのご家族の訪問も多くあり、お父さんが説明役にまわるなど微笑ましい光景もそこで見られました。

Spring-8 広報誌
「ひかりの丘から」
第2号

2. 相生ペーロン祭り

■実施日: 1998年5月31日 / 1999年5月30日

地元行事に参加して、地元地域との交流を図ることを目的とします。

31日の相生ペーロン競漕

オール手に 科学のまちから



Spring-8の 2チーム今年も出場

出場するのは、理化学研究所と日本原子力研究所、くる「Spring-8」し、地域の歴史や伝統に融そして施設の管理・運営にチームと、「ジャスリひかれ、交流を図ろうと、「S」当たる高輝度光科学研究セリ」チーム。

本番に向け練習に励む「Spring-8」チームの選手たち—赤穂郡上郡町

三十一日に行われる相生ペーロン祭の伝統行事・ペーロン競漕（そう）に、播磨科学公園都市で昨年十月に稼働した世界最大の大型放射光施設「Spring-8」から、二チームが出場する。目こは科学の最先端分野にかかわる研究・技術者と、それを支える事務職らの共同チームで、アベック出場は今年で三年連続となる。

地元行事に積極参加「勝つぞ」「楽しみたい」

かり」は二年前から、ペーロン競漕に参加。二チーム計七十八人の選手のうち、約半数は関東から同都市に赴任している研究・技術者だ。ペーロン発祥国の中国人技術者・呉樹奎さん（ごき）も加わるほか、女性も八人が出場する。

チームは、「S-8」がレースの勝利を目指し、過去の経験者らで構成。「ひかり」はレースを楽しむという目的で初出場の選手らで編成されている。それれユニホームとなるえんじとクリーンのTシャツをそろえ、本番に向けて雰囲気は盛り上がっている。

二年連続で「S-8」に出場する呉さんは「中国ではペーロンを体験したことはなかった。実際に船に乗ってみて、ペーロンの楽しさを味わった。個人の体力と技術のほか、全員のチームワークの大切さがよく分かった」と話す。

また、「S-8」のドラを務める山田泰・JASRI広報室長（やまの）は「ペーロンでは多くの人が一緒になつて、一つの目的に向けて力を合わせる。私たちにとてもいい経験です」と話している。

3.国際先端技術メッセ'98/'99

■実施日: 1998年11月4日～6日
: 1999年10月27日～29日

「技術融合を通じての次世代産業の創出」をテーマに、海外及び国内先端技術と地元企業保有技術の相互の融合を図ることによる技術高度化と新産業創造を目指した本メッセに出展することにより、SPRING-8の研究及び活動業務を広く国内外の研究機関及び企業に理解を深めてもらうことを目的とします。

先端技術メッセ'99 きょう神戸で開幕

【神戸】国際先端技術メッセ'99実行委員会（会長大庭浩新産業創造研究機構理事長）は、27日から神戸市のポートアイランド・神戸国際展示場で「国際先端技術メッセ'99」を開催する。「技術融合を通じての次世代産業の創出」をテーマに国内外の企業、団体197社が194小間に機械・金属、情報通信、環境などの分野で新技術、新製品を展示・紹介する。今回で3回目。会期は29日まで。入場無料。フェアでは「中小企業優待」を設けて来場者に分かり

やすく新技術や新製品を展示・PRする。今回は特に西播磨テクノポリス内の大型放射光（SRL）関連技術を紹介する特設コーナーを設けた。SPRING-8には新技術や高度技術、従来にはない精密機器が多く使われており、これらの展示紹介は来場者の関心を呼び起こした。地元からは「神戸市機械金属工業会」を設けており、中小企業が震災復興にかかる自慢の保有技術を紹介する。併催として27日に「技術融合を通じての次世代産業の創出を目指して」をテーマに、伊佐山建志前特許庁長官、メルリンチ証券シニアアナリスト調査部の太田清久氏が特許からみた技術動向、業界融合による新しいビジネスチャンスについて講演。28日は「成長企業の経営戦略」をテーマにセミナー、28・29日の2日間には海外先端技術セミナーを開く。

国際先端技術メッセ'99

神戸で華やかに開幕

197社・団体が出展

開会式で実行委員会会長 横田重長（神戸商工会議所の大庭浩新産業創造研究機構 会長、川崎重工業会長）は

「多くのビジネスチャンスが生まれ、技術立国日本の発展に寄与することを期待する」と述べた。

会場はSRL（大型放射光）産業利用コーナーをはじめ、「情報通信」、「研究機関・大学」、「環境・材料・エネルギー」、「情報通信」など10コーナーで構成。28日には午後1時からセミナー「成長企業の経営戦略」を開催する。

紙面：日刊工業新聞
月日：H11.10.28

紙面：日刊工業新聞
月日：H11.10.27



■SPRING-8ブース展示風景



■開会式風景

4.'99 テクノフェア in 姫路

■実施日: 1999年11月12、13日

地元企業による新技術・新商品の発表、地元大学の研究室による研究発表、産・官・学の技術・情報の交流の場を設けることにより、「モノづくり・情報ネットワーク」をサポートすることを主旨とする本フェアに出展することにより、SPRING-8の研究及び活動業務を広く地元企業に理解を深めていただくことを目的とします。

産学交流の成果披露

12日からテクノフェア 姫路・新白鉄広畑体育館



企業や大学が新商品、新技術を発表するテクノフェア「姫路市内（昨年9月）」

産学交流に積極的な企業や大学などが新技術や新商品を発表する「99テクノフェア in 姫路」が十二日から二日間、姫路市広畑区小松町の新日本製鉄広畑体育館で開かれる。

第三回の今年は、介護福祉学部、環境人間学部、行動

初日は午前十時開幕で、午後四時まで。二日目の十三日は午前十時半から午後四時十五分まで。入場無料。同フェア実行委員会は「頑張っている企業を見て、地元企業の多くが元気を出し、自社の開発技術を持て

産業科学技術研究所がそれぞれ出展を予定。「鉄鋼の表面改質による耐食性向上に関する研究」「尺取虫型ロボットの障害物踏破に関する研究」「超先端微細加工技術」などをテーマに発表する。

会場中央での先端ロボットショーは、発売直後に売り切れになった話題のソニーのペット型ロボット「アイボ」をはじめ、姫工大の尺取り虫ロボットの改良版、姫路工業高のラジコン型相撲ロボットなどを展示する。

るようになってほしい」と期待し、二日間で約五千人の入出を見込んでいる。

紙面：読売新聞
月日：H11.11.10

紙面：神戸新聞
月日：H11.11.11

救助用、相撲、ペット……

先端ロボットがやって来る

12日から姫路

テクノフェア

産業界や行政、大学で研究が進められている最先端技術を発表する「99テクノフェア in 姫路」(興、姫路市、姫路商工会議所など主催)が十二、十三両日、姫路市広畑区の新白鉄広畑体育館で開かれる。

産官学の技術協力と情報交換を進めるため、二年前

から毎年開催。今年は播磨地域を中心とした県内三十五の企業、研究機関と姫路工業大の工、理、環境人間学部、高度産業科学技術研究所が参加する。

実演スペースでは、同大工学部が開発した災害時の倒壊家屋から人を救助する「尺取り虫型ロボット」や、

姫路高等技術専門学院の「みこしロボット」、県立姫路工業高の「相撲ロボット」、民間のペット型ロボットなどによる「先端ロボットショー」も披露される。

両日とも午前十時～午後六時。入場無料。問い合わせは姫路商工会議所(079-923-6555)へ。



■Spring-8ブース内の展示風景

5.播磨科学公園都市トップセミナー in 東京

■実施日: 1998年7月14日 / 1999年9月17日

日本を代表する首都圏の企業経営者の方々を対象にSPring-8及び播磨科学公園都市を紹介し、SPring-8の研究及び活動業務を広く理解を深めてもらうことを目的に開催しました。

首都圏の企業関係者らが参加した「スプリング-8」のシンポジウム＝東京都内



昨夏に続いて二回目の開催。今年は、民間企業の利用推進に重点が置かれ、東大名教授の佐々木泰三氏とノンフィクション作家の山根一真氏が講演した。佐々木氏は「半導体チップの作製も放射光でできるようになった」などと、具体的な例を挙げて、放射光

が最先端の技術と密接にかかわっていることを強調。「さまざまな技術をスプリング-8から産業界へ移転するため、企業は若い研究者を積極的に送り込み、共同研究に取り組みしてほしい」と訴えた。山根氏は「スプリング-8から、次代を担う新技術

播磨科学公園都市の大型放射光施設「スプリング-8」利用を首都圏の企業に呼びかけるシンポジウム「21世紀の光」が創（つく）る科学技術への誘い（兵庫県など主催）が十七日、東京都内のホテルで開かれた。技術系企業の関係者ら約五百人が参加、放射光を使った研究の紹介に耳を傾けた。

「スプリング-8」利用へシンポ

東京 企業関係者ら500人参加

民間に技術移転を

紙面：神戸新聞
月日：H11.9.18

大型放射光施設の 産業利用呼び掛け SPring-8シンポ

兵庫県、財団法人高輝度光科学研究センターと日本経済新聞社は十七日、都内のホテルで「二十一世紀の光」が創る科学技術への誘い」と題するシンポジウムを開いた。九七年秋に兵庫県（播磨科学公園都市）で世界最高の放射光施設

SPring-8（スプリング・エイト）が稼働、世界レベルの研究成果を生み出し始めており、昨年に続き二回目のシンポとなる。放射光が科学分野での基礎研究のみならず、新たな産業を創造するうえで不可欠な技術革新をもたらす可能性が高い点を訴えた。会場には企業関係者など五百人以上が集まった。

基調講演に立った佐々木泰三・東大名教授は「放射光は光の技術の集大成であり、応用分野も半導体をはじめ多岐にわたる。産業界への技術移転も進めたい」と強調。さらに、上坪宏道・高輝度光科学研究センター副理事長兼放射光研究所長、川合知二・阪大産業科学研究所教授らをパネリストに、「放射光の産業利用の現状と可能性」と題する討論を実施、産業界の幅広い分野で有用なことを具体的に紹介した。

紙面：日経産業新聞
月日：H11.9.20

6.インフォ・サービス ・エキスポ'98

■実施日: 1998年6月1日～3日

第51回世界新聞大会及び第5回世界編集者フォーラムにあわせて、日本で開催する国際的な展示会で、本展示会に出展しました。



皇太子御夫妻 SPring-8ブース御見学の様子

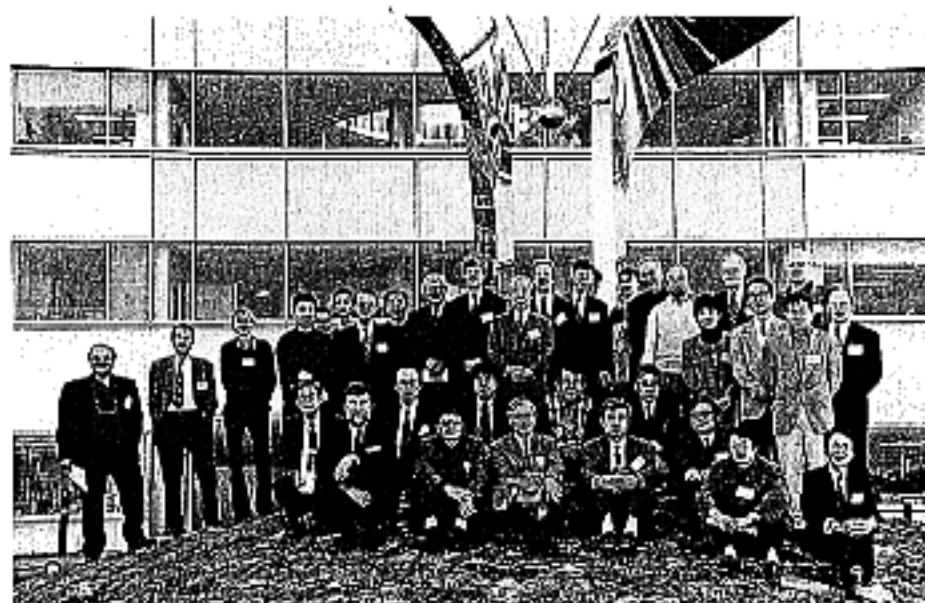
播磨国際フォーラム

■実施日: 1998年12月3日~6日 / 1999年11月3日~6日

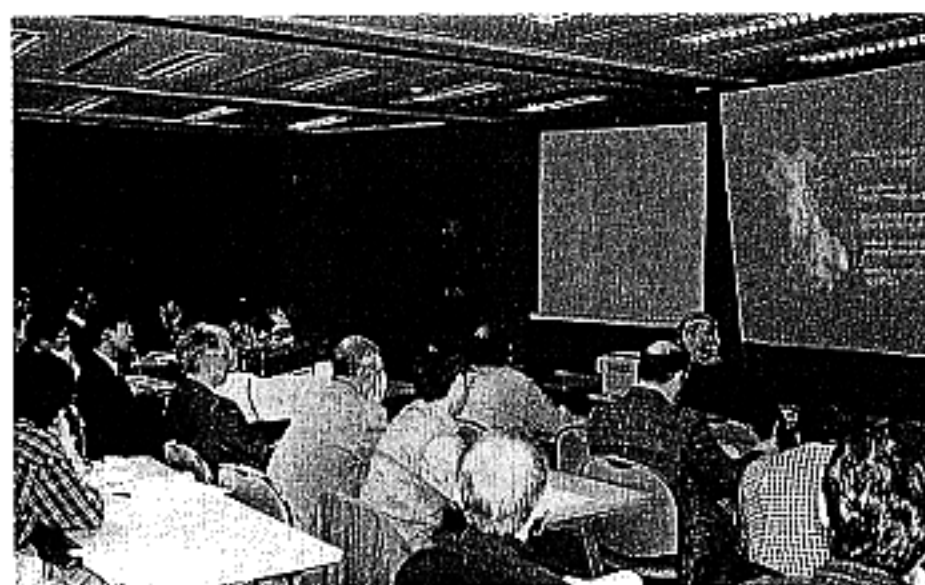
このフォーラムは、放射光及び関連分野における国際的にホットな話題からテーマを選定し、世界最先端の研究者が徹底した討論を行うことにより、新たな研究領域を生み出していこうとするものであり、最終日には、広く一般県民、学生を対象に、生命科学分野における世界的に著名な研究者による最新研究動向についての講演会も実施しました。

■プログラム■

- 14:00~14:10 ごあいさつ
- 14:10~15:30 講演1
「触媒 ~魔術から物理科学へ」 岡崎通弘
独マックス・プランク協会アルケール-II研究所長
ゲルハルト・エルツル氏
- 15:30~16:40 休憩
- 16:40~17:00 講演2
「謎の素粒子ニュートリノ」
高1統計~加速器研究機構教授
小林 誠氏



■第1回 播磨国際フォーラム参加の国内外の研究者



■外国研究者による講演風景

プログラム

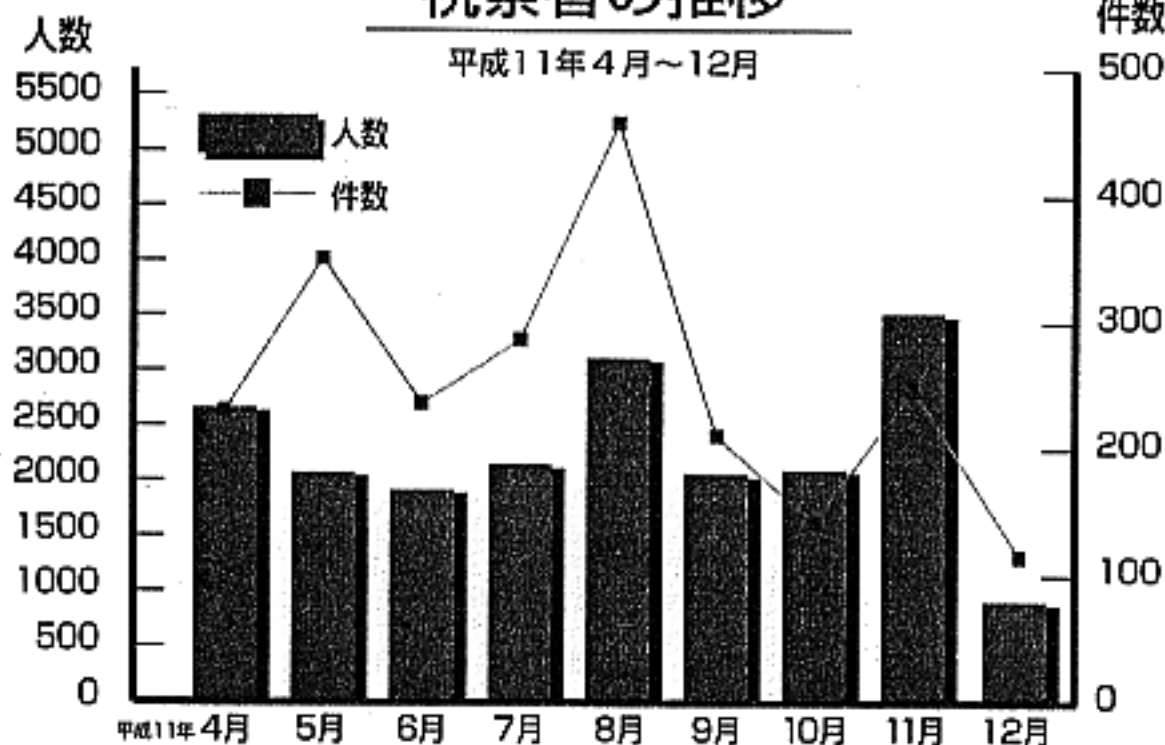
- 14:00~14:10 ごあいさつ
- 14:10~15:10 講演1
「脳の機能としくみ」
京大大学院生命科学研究所
中西 重忠教授
- 15:10~15:30 休憩
- 15:30~16:30 講演2
「神経情報の伝わるしくみ」 岡崎通弘
MRC分子生物学研究所神経生物学部門長
ナイジェル アンウィン博士



■第2回 播磨国際フォーラム参加の国内外の研究者

視察者の推移

平成11年4月~12月



平成7年度~平成11年度の視察者

平成7年度	22,506名
平成8年度	24,295名
平成9年度	47,540名
平成10年度	22,056名
平成11年度 (H11.12月現在)	20,483名

■Mira Roma (ミラロマ) 高校生徒見学用冊

■VIP視察者■ 1999年

5月10日
公明党・革新クラブ科学技術部会

5月29日
稲葉科学技術政務次官他衆・参議院議員

8月31日
自由民主党国会議員



上坪所長から大型放射光施設についての説明を受ける山崎拓・自民党前政調会長 (左)

■稲葉科学技術政務次官他衆・参議院議員御視察風景



山崎拓氏ら自民
国会議員が視察
Spring-8

「Spring-8」を視察した。上坪所長から、これまでの実験成果や和歌山市国部の毒物カレールー事件で、亜ヒ酸鑑定を行ったことなどの説明を受けると、興味深げにうなずいていた。山崎氏は超党派議員の

「米国会と科学技術交流の会」副会長を務めており、三十日に東京で開かれた会合でも、科学技術予算の重要性を指摘している。この日は午前中に大阪の「大阪バイオサイエンス研究所」も訪れていた。



紙面：読売新聞
月日：H11.9.1

1998~1999 PUBLIC RELATION REPORT

1998年

- 4月●「施設一般公開(4/19)」開催
- 5月●「相生ペーロン祭り(5/31)」参加
- 6月●「インフォ・サービス・エキスポ'98(6/1~6/3)」出展
- 7月●「播磨科学公園都市トップセミナー in 東京(7/14)」開催
- 8月●「はりま博士おもしろサイエンス(8/1~8/22の土・日)」実施
 - 「高校生のためのサイエンス・サマーキャンプ(8/5~8/7)」実施
 - 「高校生のためのサマーサイエンスセミナー(8/18、19)」実施
- 11月●「国際先端技術メッセ'98(11/4~6)」出展
 - 「トライやる・ウィーク(11/9~13)」実施
 - 「高校理科教師のための体験研修(11/24)」実施
- 12月●「播磨国際フォーラム(12/3~6)」開催

1999年

- 4月●「施設一般公開(4/18)」開催
- 5月●「サイエンス・アドベンチャー・スクール(SAS) 5/27、28」実施
 - 「相生ペーロン祭り(5/30)」参加
 - 「トライやる・ウィーク(5/31~6/4)」実施
- 6月●「第2回 SAS(6/22、23)」実施
- 8月●「はりま博士おもしろサイエンス(7/31~8/15の土・日)」実施
 - 「高校生のためのサイエンス・サマーキャンプ(8/9~11)」実施
 - 「高校生のためのサマーサイエンスセミナー(8/18、19)」実施
- 9月●「播磨科学公園都市トップセミナー in 東京(9/17)」開催
- 10月●「国際先端技術メッセ'99(10/27~29)」出展
 - 「第3回 SAS(10/28、29)」実施
- 11月●「'99テクノフェア in 姫路(11/12、13)」出展
 - 「第4回 SAS(11/29、30)」実施
 - 「播磨国際フォーラム(11/3~6)」開催

2000年

- 1月●「高校理科教師のための体験研修(1/28)」実施

広報部

〒679-5198 兵庫県佐用郡

お問い合わせ

TEL 0791-58-2785

FAX 0791-5181-2786